マイクロソフト EES でのプロキシ設定解除について

先般よりご案内しております 2014 年 3 月末のプロキシサーバーの廃止に伴い、マイクロソフト EES (旧キャンパスアグリーメント) にて<u>以下のウイルス対策ソフトを導入している場合、ブラウザの設定とは別にプロキシサーバーの設定変更が必要になります。</u>本設定が解除されていない場合は 4 月以降、ウイルスのパターンファイルが更新されません。セキュリティを確保するためにも設定の解除をお願い致します。

- System Center 2012 Endpoint Protection
- System Center 2012 Endpoint Protection for Mac
- Forefront Endpoint Protection 2010
- Forefront Client Security

■Windows での作業手順

[Windows Vista / 7 / 8 の場合]

- 1. 「スタート」 \to 「すべてのプログラム」 \to 「アクセサリ」 \to 「コマンドプロンプト (右クリックで「管理者として実行」)」を選択します。
 - ※Windows 8 の場合は、「スタート」→「すべてのアプリ」→コマンドプロンプト(右クリックで「管理者として実行」)
- 2. 以下のコマンドを入力し、Enter キーを押してください。(」は半角スペース) netsh_winhttp_reset_proxy

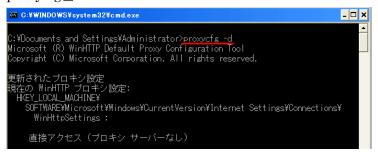


3. PC を再起動します。

[Windows XP の場合]

1. 「スタート」 \rightarrow 「すべてのプログラム」 \rightarrow 「アクセサリ」 \rightarrow 「コマンドプロンプト」を選択します。

2. 以下のコマンドを入力し、Enter キーを押してください。(」は半角スペース) proxycfg_-d



3. PC を再起動します。

■Mac での作業手順

1. メニューバーの System Center 2012 Endpoint Protection アイコンから、「設定」→「プロキシサーバーの設定」を選択します。



2. 「プロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



マイクロソフト EES 以外で導入されたウイルス対策ソフトについても、プロキシサーバーの設定を行っている場合は、設定の変更をお願い致します。

設定に関する問い合わせは各キャンパスのサポートデスクまでご連絡下さい。

以上